

各 位

2025 年 3 月 25 日
SBI ホールディングス株式会社
photonamic GmbH & Co. KG

脳腫瘍術中診断薬のヨルダンでの承認取得について

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の連結子会社で、5-アミノレブリン酸（5-ALA）（※）を利用した医薬品開発事業を手掛けるドイツの photonamic GmbH & Co. KG（本社：ドイツ・ピンネベルク、代表：Ulrich Kosciessa, Ph.D.、以下「フォトナミック社」）は、脳腫瘍の術中診断薬である“Gliolan®”（以下「本剤」）のヨルダンでの承認を取得しましたのでお知らせいたします。

なお、本資料は3月13日にフォトナミック社が発表したプレスリリースを日本語に抄訳したもので、参考資料として提供するものです。その内容および解釈については英文プレスリリース（[Gliolan® to launch in Jordan, as Al Hilal Drug Store secures a Marketing Authorisation](#)）が優先されますのでご参照ください。

フォトナミック社は、ヨルダンにおいて本剤が承認され、中東地域において初めて製造販売承認を取得したことをお知らせいたします。

これはフォトナミック社と、1978年の設立以来ヨルダンで最も長い歴史を持つ医薬品商社の一つである Al Hilal Drug Store 社との長年にわたるパートナーシップにより実現したものです。この提携を通じて、Al Hilal Drug Store 社が有する現地の専門知識と販売網を活用し、ヨルダン市場への本剤の導入を推進してまいります。ヨルダンは医療分野において先進医療技術の導入が進んでおり、本剤のような革新的な製品にとって理想的な市場であると考えています。

フォトナミック社はヨーロッパのみならず日本、米国にも展開地域を拡大させており、ヨルダンでの成功は中東地域での更なる成長の足がかりとなると考えています。

photonamic GmbH & Co KG について

フォトナミック社はドイツに本社を置く企業で、ヘルスケア分野のさまざまな用途における 5-ALA の開発に携わっています。親会社である SBI ALApharma GmbH とともに、フォトナミック社は SBI グループの一員として、脳腫瘍の蛍光ガイド下切除用の 5-ALA を開発・登録し、ヨーロッパ、米国、カナダ、日本、オーストラリア、韓国において、Gliolan®、Gleolan™、または アラベル®として販売されています。SBI グループ内においては、米国、カナダ、日本のフォトナミック社とその関連会社が、感染症における免疫調節、食品サプリメント、化粧品などの分野においても 5-ALA の開発を行っています。

(※) 5-アミノレブリン酸は体内のミトコンドリアで作られるアミノ酸のひとつです。5-アミノレブリン酸は、がん細胞に取り込まれると、その主要代謝産物であるプロトポルフィリン IX が蓄積します。このプロトポルフィリン IX に励起光が照射されると蛍光発光する性質を利用し、がんを可視化することで、がんの術中診断薬として実用化されており、さらなる開発が進められています。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126